

全薬グループ、「文京区こども宅食」へ参画

～ 本社所在地域における子育て世帯を支援 ～

かぜ薬「ジキニン」でおなじみの全薬グループの全薬ホールディングス株式会社（本社：東京都文京区代表取締役社長 橋本弘一 以下、全薬ホールディングス）は、文京区が推進する子育て世帯支援事業「こども宅食」に参画することを決定しましたのでお知らせいたします。



「文京区こども宅食」について

◆親子の健康を支える取り組みに賛同

「こども宅食」は、子育て世帯に対して食品や日用品を定期的に届けるとともに、継続的な見守りを通じて様々な支援につなげる取り組みです。日々の食事は、こどもの心身の発達や将来の健康に大きな影響を与える基本的な要素です。親子の食事支援は、栄養面のサポートに加え、安心して過ごせる環境や地域とのつながりを育み、心の健康を守ることにもつながります。

当社はこうした考えのもと、健康を「未然に守る」取り組みとして食事支援を位置づけ、「文京区こども宅食」に参画することとしました。

全薬グループは文京区に本社を構える企業として、地域社会との共生を重要な責務と捉えており、今後も身近な健康および社会課題の解決に資する活動に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【文京区こども宅食】

文京区の経済的に困っている子育て家庭に 2 ヶ月に 1 度、食品等を直接配送し必要な支援につなげる取り組みです。文京区や NPO 等がコンソーシアムを形成して事業展開をしており、ふるさと納税による寄付を原資に、返礼品は用意せず、全額を事業運営に充てています。2026 年 4 月現在、文京区内の就学援助世帯など約 750 世帯の家庭が利用しています。こども宅食の取り組みは現在全国に広がっていますが、2017 年 10 月に文京区が最初に開始しました。（文京区こども宅食ホームページから抜粋）

文京区こども宅食公式ホームページ <https://kodomo-takushoku.jp/>

全薬グループについて

全薬グループは、グループの経営管理を担う「全薬ホールディングス株式会社」、医薬品などの研究・開発・製造を担う「全薬工業株式会社」、製品販売ならびに通信販売を展開する「全薬販売株式会社」で構成されています。また、全薬工業株式会社が創業以来掲げている「模倣せず、一歩前進した医薬品を創生し、効きめを創り、効きめで奉仕する」の創薬理念のもと、独創的な医薬品の開発に不断の努力を重ねてまいりました。それを基盤として地域の保健衛生の向上を目指し、全国のお取引先様とともに医薬品の適切な使い方や健康づくりの啓発を推進しています。総合感冒薬「ジキノン」シリーズ、敏感肌用基礎化粧品「アレルギー」シリーズをはじめ、生活者の皆様の健康ニーズにお応えする製品をご提供しています。医療用医薬品分野においては、患者さんに希望を持っていただけるように、そして笑顔になれる医薬品の創生をテーマに取り組んでいます。

商 号：全薬ホールディングス株式会社

本 社：東京都文京区大塚 5-6-15

代 表：代表取締役社長 橋本弘一

創 業：2022 年 10 月 4 日

事業内容：グループの経営管理およびそれに関連する業務を担う持株会社

ホームページ：<https://www.zenyaku.co.jp>